

人づくり・つながりづくり・地域づくりを進める社会教育の役割 ～これからの社会教育委員のミッションとは～

【登壇者】

■ 海田町社会教育委員会議議長 小畑 佑藏

海田町社会教育委員会において、平成31年3月、社会教育施設(公民館等)のあり方や、公民館を拠点とした文化協会・総合型スポーツクラブのあり方等について答申を行った。令和2年4月の開館を目指し、公民館機能を有する「織田幹雄スクエア」が建設中である。社会教育委員会議の議長として、町の社会教育行政の施策の推進に向けてリーダーシップを発揮し、海田町において、人づくり・つながりづくり・地域づくりを総合的に推進している。

■ 三次市社会教育委員会議議長 森川 幸郎

三次市社会教育委員会議は、三次市内において家庭教育に係る調査研究を行い、平成27年12月に家庭教育に関する提言書を提出した。提言内容を踏まえたリーフレット「三次の子育て五か条」を作成するなど、家庭教育を支援・啓発する活動を積極的に行っている。現在も幼少期から高等学校まで幅広い世代への家庭教育支援の在り方についての検討など取組を推進中。社会教育委員会議の改善等、社会教育委員の意識改革に取り組み、社会教育委員と行政が連携・協働しながら、市の家庭教育支援の施策が進んでいる。

■ 府中町社会教育委員

府中町家庭教育支援チーム「くすのき」 米田 珠美

町内の保護者の子育てに対する不安を和らげ、自信をもって子育てができるよう、子育てについての知識や経験を学び合う「『親の力』をまなびあう学習プログラム」を活用した講座を保育所・幼稚園・小学校・公民館等各所で実施している。家庭教育支援チーム「くすのき」は、地域・学校・行政と連携をとって、子供の育ちや子育てを見守ることを目的として、「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター等で構成されたチームで、平成24年度より活動を開始。保護者が楽しく参加し語り合う「しゃべり場」の開催等、精力的に活動を展開している。平成27年度広島県教育奨励賞受賞(団体 社会教育区分)。

■ 府中市社会教育委員

府中市立府中明郷学園 校長 杉原 満治

府中市立府中明郷学園は、平成22年度から小学校・中学校一体型の小中一貫教育、平成26年度からコミュニティ・スクール(学校運営協議会)を推進している。平成29年度「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム(徳島会場)において実践発表を行う。府中市社会教育委員を務めるほか、自身の社会教育担当行政職員の勤務経験等で得られた知識やノウハウを生かして、学校教育と社会教育の両輪の観点から、地域の教育力を生かした学校と地域の連携・協働を総合的に進めている。

【コーディネーター】

香川大学地域連携・生涯学習センターセンター長・教授 清國 祐二



専門は、社会教育学、生涯学習論。平成2年大分県立別府青山高校教諭、平成5年島根大学教育学部助手、平成6年同大学講師、平成9年同大学助教授。平成14年4月から香川大学生涯学習教育研究センター助教授を経て現在。全国社会教育委員連合会理事、「社教情報」編集委員。香川県社会教育委員の会長時代に、社会教育委員の役割を分かりやすく示した「社会教育委員ハンドブックみわーく」を発刊。

主な著書に『地域をコーディネートする社会教育』(理想社2015)『参加型学習とファシリテーション能力』(社会通信教育協会2014)『社会教育計画の基礎』(学文社2012)等。現在、文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員、高知県社会教育委員等を務める。